

西宮市役所 新入職員座談会

2019年度採用の新入職員が、採用試験から入庁後これまでを振り返り、ホンネを語ります。



「大好きな西宮市で働きたい」

- 西宮市を志望したきっかけは何ですか？

堀：前職の社員寮が西宮市にあり、1年間を西宮市で過ごしました。それまでは、縁もゆかりもなかったのですが、高校野球が好きなこともあり、住んでみていい街だと思いました。阪神間で転職を考えたとき、ちょうど西宮市で追加募集があったことも後押しになりました。

塚根：西宮市はアンケート調査で住みやすい街として上位にランクインしていましたし、市民が住み続けたいと思っているという調査もありました。仕事を続けていく上で、住みやすい街で働きたいという思いと、なぜ市民に住み続けたいと思われているのか知りたいという思いもあり、志望しました。

香川：生まれも育ちも宝塚市ですが、西宮市にある母の実家によく遊びに来ていて、その頃から西宮はいいなというイメージがありました。建築職の公務員になろうと決めたとき、西宮市をより良くしていくことに自分の力を使いたいと思い、なじみのある西宮市を選択しました。

高山：とにかく、西宮市が好きで受験しました。幼少期から西宮市に住んでいましたが、大学進学のタイミングで西宮市を離れたことで、街がきれいであるとか住みやすいといった西宮市の良さをより強く感じました。西宮市で育つ子供達にも同じように西宮市を好きになってほしい、そのためには働きたいと思い、志望しました。

芦田：仕事をしながらの転職だったので、S P Iで受験できることが選択の条件でした。前職で、自治体の施策を調べる機会があり、西宮市は新たな事業に既存の施設を活用していたりと、安易に無駄使いをしていないことを知り、市民思いだと感じていました。受験している内に、より西宮市がいいと思うようになりました。

「やりがいは感謝の言葉」

- どんな時にやりがいを感じますか？

塚根：感謝の言葉をもらった時はとてもうれしいです。新生児訪問で訪ねたあるお母さんは、1カ月くらいまともに外出ができていなかつたそうです。訪問した時に「来てもらえて良かった」「相談して良かった」と言われ、やりがいを感じました。



芦田：保険料を収納する部署なので、市民の方から感謝されることは少ないです。先日、本人の手続きの不備で督促の通知が届いた人から厳しい口調で質問されることがありました。時間をかけて丁寧に説明することで納得していただき、きつい言い方して悪かったなと言われました。後日、その方に文書を送ることがあったのですがきちんと対応してくれてありがとうとお礼の電話がかかってきました。丁寧に対応すれば分かってもらえると再確認することができ、これからも頑張ろうと思いました。

香川：先輩の工事の副担当として関わった外壁工事が終わり、ぼろぼろだった壁がきれいになったのを見たときは感慨深く、自分が主担当であれば、なおさらなのかなと思いました。仕事の区切りのタイミングでお疲れ会や頑張ろう会があり、また気持ちを入れ直して頑張っています。

堀：この半年間は、担当する工事に向けて発注や準備をしている段階なので、やりがいを強く感じる機会は今のところは少ないです。今後、担当する工事が無事に終わり、完成したところを見るとやりがいを感じるのかなと思います。

高山：市税の徴収に携わる部署なので、目に見える成果のやりがいは感じにくいかもしれません。ただ、市の歳入の内、約半分を占める税収の仕事を担っていること、仕事を通じて専門的な知識を習得できることにやりがいを感じています。



「経験を積み、成長していきたい」

- 仕事での苦労、頑張りたいことは何ですか？

高山：問合せに答える専門知識を身に付けたいです。電話をかけてくる人は、市役所の職員なら知っていて当然だと思っています。質問の内容を聞き取っても、うまく理解できないこともあります。苦労しています。

堀：前職の経験はありますが、前職までの受注者と今の発注者の立場では仕事のやり方が全然違いました。一から覚えることが多いです。

芦田：保険料の収納が重なっていないかのチェックに苦労しています。心配性で、間違いがないようにすると時間がかかることがあります。周りの先輩が助けてくれるのですが、その状況が申し訳なく、頑張って周りに心配されないようになりたいです。

塚根：関わる事業を覚えるのに苦労しました。事業が多く、対象・目的・事業の流れを覚えていないと、相談者を適切な支援に結び付けることができません。困っていることは何なのか、状況によって判断することによく慣れきましたが、関わり方が難しい人への対応はまだ勉強中です。同じような事例は共有したり、先輩を見て学んでいます。

香川：市民の方との関わりは少ない部署ですが、業者とはやり取りが多く、過去にどの業者がどんな工事をしたのか、これまでの経緯などを覚えるのに苦労しました。また、何か業務を行う上での手順や申請、条件などを一つずつ調べながら進めて行かねばならず、何からやっていいのか分からないこともあります。少しづつ経験を積み、成長していきたいと思っています。

「周りを安心させられるような職員を目指して」

- これからどんな職員になりたいかを教えてください

堀：「何事も楽しめる職員」になりたいです。私たちが楽しく仕事ができていないと、市民の方も楽しく生活ができないのではと思います。仕事をしていく中で嫌なことやストレスを感じることがあっても、一人居酒屋でストレスを解消し、楽しく仕事をしていきたいです。

香川：周りの人から信頼される「知識と対応力を持った職員」になりたいです。他の職員や業者が何か疑問を持ったときに、「まずはあの人に聞いてみよう」と言われるようになりたいです。相手が納得できる説明をするために専門的な知識をどんどん吸収していきたいです。

塚根：困っているときに相談できる、相談しやすいと思ってもらえる「頼れる保健師」になりたいです。そのために、さまざまな方面にアンテナを張って、幅広い知識を身に付けたいです。今は先輩に助けてもらうこともありますが、経験を積んで色々な対応ができるようになります。

高山：市職員として、市の運営に貢献でき、市民・職員から「信頼される職員」になりたいです。周りに見本となる人がたくさんいるので、言葉遣いや教わり方、教え方もしっかり学んでいかねばと思っています。今は、自分に与えられた仕事、役割を正確にやり切ることを意識して業務に取り組んでいます。

芦田：日々の業務を確実にできるようになります。その結果、「周りを安心させられるような職員」になります。のために、小さな疑問もすぐに質問するようにしています。周りの先輩は忙しい中、とても丁寧に教えてくれます。今後、私に後輩ができたときには、私がしてもらったことを同じように返してあげたいと思っています。



「自然体で臨むことができました」

- 採用試験の印象はどうでしたか？

塚根：筆記試験が難しいと思いました。2次試験では、1次試験の筆記試験の点数は関係が無いと言われて、ありがたかったです。面接試験では面接官がしっかり話を聞いてくれていることがよく分かり、話したいことをしっかりとと言えました。

香川：面接試験では、面接官も冷たい感じがなく、話をすごく聞いてくれた感じがしました。面接を受けていて、話したいことが話せて嬉しかったです。

高山：面接では、他の自治体は事前に考えている答えを回答するような質問が多かったと思いますが、西宮市はその場で考えて答える質問があり、その人の反応やどういう人なのかという人物そのものをみているようでした。

芦田：面接試験は、自分の経験や人となりを確実に見てもらえたと思いますし、気持ちを伝える場面が設けられていました。また、面接官がにこやかで、面接を受けやすかったという印象です。

堀：専門の筆記試験の点数があまり良くなかったのですが、それでも採用まで至ったのは、面接を重視しているからだと思います。面接試験でも始まる際に面接官から世間話のようなことを話かけてくれて、緊張をほぐしてくれました。おかげで、自然体で臨むことができました。



「周りの人が助けてくれるので、良い環境です」

- 職場の雰囲気を教えてください

塚根：困ったときには相談しやすい職場です。また、休み時間には旅行の話をしたりして、コミュニケーションがとりやすいです。自分の中に抱え込まず、話しやすい雰囲気で働けていると常々感じています。

香川：職場の誰にでも質問しやすく、課長にでも聞きやすいです。車での移動中にプライベートの話をしたりもします。みんなの仲が良く、良い雰囲気だと思います。

芦田：雰囲気が良いです。時間外にはプライベートの話もします。また、元気になる声掛けとかをしてくれたりして、良い職場です。

堀：仕事の話はもちろんのこと、子どもの話や家庭の話まで…プライベートをさらけ出しています。本当にいろんな相談ができます。風通しが良いです。

高山：先輩職員との年齢も近く、質問もしやすいですし、丁寧に教えてくれます。また、休暇も取りやすいですし、子どもが生まれたばかりで休みを取らないといけなくなったとしても、周りの人々が助けてくれるので、良い環境です。



最後に ~西宮市を目指す人へメッセージ~

堀：ワークライフバランスを取れている人が多いです。転職を考えている人も、プライベートを充実させたい人もぜひ西宮市を目指してもらえばいいと思います。

塚根：過去の試験結果などの情報を見ると、倍率が高いので、ハーハードルが高く感じると思いますが、西宮市で働きたいという気持ちがあれば、その事前情報に負けずに応募してほしいです。

高山：西宮市にただ入りたいということだけではなく、どんなことをしたいのか、これからビジョンや熱意をもって受験すれば採用されると思います。

芦田：面接は、「良いことを言わないといけない」や「良い姿を見てもらわないといけない」と思わず、自分のいつもの姿で想いを伝えれば、良いと思います。自分らしく面接を受けてください。

香川：技術職は転職組も多い中で私みたいに新卒で採用されているのには意味があると思っています。みなさんも何かしらの役割、求められていることがあるということを意識してください。

主な職種紹介

事務

窓口など市民と接する仕事から総務部門などの内部事務あるいは各施策の企画・調整などの市政運営に携わる業務を担います。一般的には3~5年で人事異動があり、ゼネラリストとして幅広い分野の業務に従事します。

主な配属先 市長部局の各局、各行政委員会(教育委員会等)など

土木

道路、橋梁、下水道などの都市基盤施設の建設・管理・更新業務に従事します。また、都市計画、交通計画、市街地整備、開発行為の審査・指導など、まちづくりのハード・ソフト面で幅広い業務を担うほか、災害対策などの危機管理業務にも携わります。

主な配属先 土木局、上下水道局、都市局、防災危機管理局など

建築

公共施設の新築・改築・補修等の設計、工事監理などの業務のほか、法令等に基づく建築・開発行為などの許認可を行う業務に従事します。また、景観の協議や計画、公共施設の配置計画やマネジメントを行う業務にも携わります。

主な配属先 都市局、土木局、政策局、総務局など

電気

公共施設の新築・改築・補修等における電気設備の設計・工事監理などの業務に従事します。また、ごみ処理プラント、上下水道施設の監視や制御システムの構築のほか、防災情報システムの構築などの業務にも携わります。

主な配属先 上下水道局、土木局、環境局、総務局、防災危機管理局など

機械

公共施設の新築・改築・補修等における機械設備の設計・工事監理などの業務に従事します。また、ごみ処理プラントにおけるリサイクル技術の導入や上下水道施設における高度処理施設の整備などの業務にも携わります。

主な配属先 上下水道局、土木局、環境局、総務局、都市局など

造園

さくらの名所100選の夙川河川敷緑地をはじめとする公園・緑地の整備、保全や街路樹等の育成管理を行います。また、市民参画による花と緑のまちづくりや生物多様性の取組みなど、潤いと安らぎをもたらす緑の施策にも携わります。

主な配属先 土木局、環境局など

化学

産業廃棄物処理業等の指導監督、大気や水質等の監視・分析など、環境保全対策に関わる業務に従事します。また、水道水や下水処理水等の水質検査・水質管理及び工場排水の監視・指導等も行います。

主な配属先 環境局、上下水道局など

保健師

母子保健、成人保健、精神保健、介護予防、感染症対策などにかかる健康相談、保健指導、健診、家庭訪問等の業務に従事します。

主な配属先 保健所、保健福祉センターなど

その他

その他の職種として、「保育士」、「栄養士」、「看護師」、「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚士」、「薬剤師」、「心理療法士」、「学芸員」、「司書」などがあります。各職種の詳細については、人事課までお問い合わせ下さい。

職名と職制ライン

事務職および技術職〔土木、建築、電気、機械、化学、造園〕については、右図の職制ラインが基本となります。
(他職種については、職名等が異なる場合があります。)



勤務条件

■ **基本給(給料及び地域手当)**: 214,015円(22歳大学卒の場合)

※ 事務職および技術職の基本給。基本給月額は平成31年4月1日現在の額。経歴、給与改定等により異なる場合があります。

■ **諸手当**: 扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、期末勤勉手当等をそれぞれの規定に基づいて支給します。

■ **勤務時間**: 原則として午前8時45分から午後5時30分まで。ただし、勤務場所によって異なる場合があります。

■ **休日**: 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29 ~ 1/3)です。ただし、勤務場所によって異なる場合があります。

■ **休暇**: 年次有給休暇は、1年度に21日あります。その他休暇(夏季・結婚・出産・忌服等)があります。